



# 農とみどり 通信

2024/4/30

4月号



発行：NPO法人 せたがや喜多見 農とみどり



## Question !

突然ですが、  
さて、ここはどこでしょう？



### ヒント！

あなたが喜多見の近くの方であれば、きっと、おなじみの場所です。  
奥に見える丘はいまちゃんとあります。バスでいつも通っているかもしれませんね。  
いまも喜多見にお住まいの現役農家・原田さんから貴重なお写真をお預かりできたので、ぜひお見せしたいと思いました。

答えは次のページ→

## Answer

ここは、いま、世田谷通り沿いのOKストアがある場所です。住所は成城三丁目18番。



以下は、原田さんが前ページの写真について書かれた記録です。  
そのままお読みください。確かにその生活は、この地にあったのです。

写真は・・・当時の農地解放で農林省より払い下げを受け、昭和 15-16 年頃により田を作り  
現在の成城 3 丁目 18 番地東京都下水道局排水調整所/  
現在のスーパーOK・・・当時は世田谷通りの両サイドは各農家が畑を耕作し・・・田圃の耕作  
に精を出し、戦後の日本復興に向けて農民が農作物を作り国にお米等を供出し、日本  
経済の縁の下での力持ちとして国を支えてきた当時の写真  
昭和 28 年ごろの田植えの作業と秋の稲穂掛け、稲ブラ・稲ブラボツ置等・田んぼの稲の片  
付け作業・・・春の準備・・・傍ら・・・春先にはクネギの原木にシイタケ菌の菌を打ち込  
む作業・・・農家は一年中休むことなく社会に貢献してきたので今日があると思います。



(記：泉博史 2024年4月29日)



## 村 ・ 地域 ・ 農

喜多見周辺には畑と農家さんがまだまだあります。  
地域の神社のお祭りもあります。  
御祭りでは、お神輿が街をねり歩きます。  
お祭りのお囃子の音色はいいものです、  
なぜか心が躍ります。  
なぜでしょう。  
何故か嬉しい。  
この時にわたしたちは、日本人を感じて、自分達を意識  
している様です。



このようにして、わたしたちは土地（地域）に根ざして生きて来たのだと思います。  
農は、ひとりでは難しい。  
ひとりとは個人経営のこと、自分だけで生計を立てて生きていくこと。  
農業も個人経営ができる方向に進んでいる、これが社会の流れ。

社会は変化して、豊かさへの努力と進化は、個人でもやっていける方向へ。  
自分の道具、自分の敷地、自分の資金、自分の情報（携帯があれば）へと。  
これは、つまり豊かさへの努力は、良いこと？  
良いことだけど、全て良いこと？

今も須賀神社（てんのう様）の山（古墳）の  
掃除や、大木の落葉の掃除は、  
農家さんの集まりが動いてやっています。  
これは、きっと、ずっとずっと昔からのこと。  
農というものも、いろんな意味で、地域で協力し  
合ったり、役割分担してやってきたのだと思う。  
栽培の仕方にしろ、比べてたり、  
教え合ったりとか、支え合ったりとか。



農は基本。  
たべることがヒトの基本だから、農は基本。  
農は地域の協力があって、生きるためのノウハウとして成り立つ。  
日本のヒトは、日本の文化は農に根ざす。  
お祭りのお囃子の音色は、そのことを思い出させて耳からこころの住み家へ。  
収穫が終わる秋、街（村？）のみんなが 今年も御祭りに集まる。  
いきてこれた喜びを祝って確認する。

（記：田島文一 2024年4月29日）

## 細長アキチの日々

4月に入り20度を越えてチョッと作業しても汗ばむ日が増えて来ました。

4月は5月の夏野菜植え付けに向けて土作りや苗作りをする重要な月です。

細長アキチではお手伝いしてくれた方が持ってきてくれたり作りたいと言われた野菜の苗を専用の棚を作って色々育てています。



綿や藍染の藍、小豆、水菜、枝豆、トウモロコシ、モロヘイヤ、スズメ瓜、日本ハッカなど多めに作って余った分は市場で売ったり手伝ってくれた人達にお礼に持って行って貰ってます。

暑くなって来ると野菜などの成長も進みますが虫も活発に動き始めます。

畑ではイチゴの最盛期で沢山成り始めているのですが半分齧られたり、ジャガイモの袋栽培ではニジュウヤホシテントウ葉っぱをかじり、アゲハチョウが飛び回って花が咲き始めたレモンの木を狙ってます。

アゲハチョウは柑橘類の木に卵を産んでその幼虫は食欲大勢でアツと言う間に丸坊主にしてしまいます。

対策とし今、安全な殺虫剤として注目されているニームオイルの表面散布や良く観察して見つけ次第捕まえています。

今、畑で育っている野菜はイチゴや去年に植えた玉ねぎとニンニク、今月プランターに植えた九条ネギがあります。

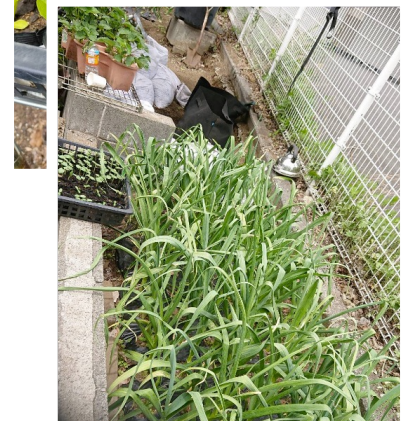
特に玉ねぎは大分大きくなっており葱坊主迄で来ました。

放置すると玉ねぎに悪影響が出るので

先日収穫して関東風の醤油がきいたうどんを作ってみんなで食べました。

ネギの風味が出汁にうつってとても旨かったです。

プランターで育てている九条ネギが育ったら 今度は鰹出汁のきいた関西風うどんに九条ネギ沢山入れて炙りたての油揚げのせて食いたいです(笑)



月に1回くらいは畑で出来た野菜でご飯作って

みんなで食べたいと思っているので是非皆さんも参加してください。

(記：どんちゃん 2024年4月28日)



## てづくり市場との出会い 6

### 「てづくり市場の魅力～人と人との助け合い」

こんにちは。今回は、てづくり市場の運営に必要な資金を、出展者のみなさんから運営協力金としていただく仕組みを導入したことを書きました。これはもちろん私一人の力ではなく、運営の皆さんや出展者のみなさんとご一緒におこなっている、持続可能な市場を作り上げるためのさまざまな取り組みの一つです。

市場の運営の資金面で、今もこの運営協力金は大きな役割を果たしています。そして変化もしてきています。導入当時は、売上2000円未満の出展者の方からはお金をいただいていませんでしたが、あるとき「今回はやっと、売り上げが2000円を超えたので、市場に貢献出来ました。うれしいです。」とおっしゃった出展者の方がいらしたことから、今では売上が少ない方からも、100円の協力金をいただく仕組みに変更しました。出展者みなで市場を盛り上げていこう、という気持ちがより反映された形になりました。

資金面だけでなく、人手の面でも様々な協力が行われています。野菜の販売や「くつろぎコーナー（てづくり市場における重要なコーナー。無料のお茶やお菓子があり、市場を訪れた方や出展者、運営者が入り混じり、飲食しながらくつろぐ場所。）」の担当は、その月により専任の担当者がある場合もありますが、運営メンバーで様子を見ながら対応することもあります。

出展者同士も助け合って販売をしています。私も3月は、自分の陸前高田応援団のブースの隣でプリン販売も行いました。おせんべい屋さんの都合がつかなくても、軽トラの運転とお店番をほかの方々が担当し、4月も無事に市場におせんべいが並びました。



市場の真ん中にあるくつろぎコーナー。誰でもここで、無料のお茶やお菓子を楽しめます。この記事が掲載されている会報も、ここでゆっくり閲覧できます。

5月は暑くなってくるので、子どもたちが喜ぶ、おおきいシャボン玉のコーナーができる予定です。

互いに助け合い、訪れた人たちが楽しめるようにと、各人ができることをやる。気持ちの良い集団だといつも感じています。そんな方々と一緒に活動できることが、私がこの市場の運営にかかわり続ける最大のモチベーションなのかもしれません。

3月の市場では、「世田谷ボランティアビンゴツアーズ（ボラビン）」からボランティアの方にご参加いただき、くつろぎコーナーでお茶を担当していただきました。

これから参加されるボランティアの方々にも、のどかな喜多見の風景と、そこにかかわる人たちとの触れ合いを楽しんでいただけたらと思います。



（記：小堤明子 2024年4月27日）

「世田谷ボランティアビンゴツアーズ（ボラビン）」のボランティアの方に、くつろぎコーナーのお茶を担当いただきました。風の強い日でしたが、市場の雰囲気を楽しんでいただけたと思います。

**農とみどりオフィシャルサイトにぜひおいでください！**

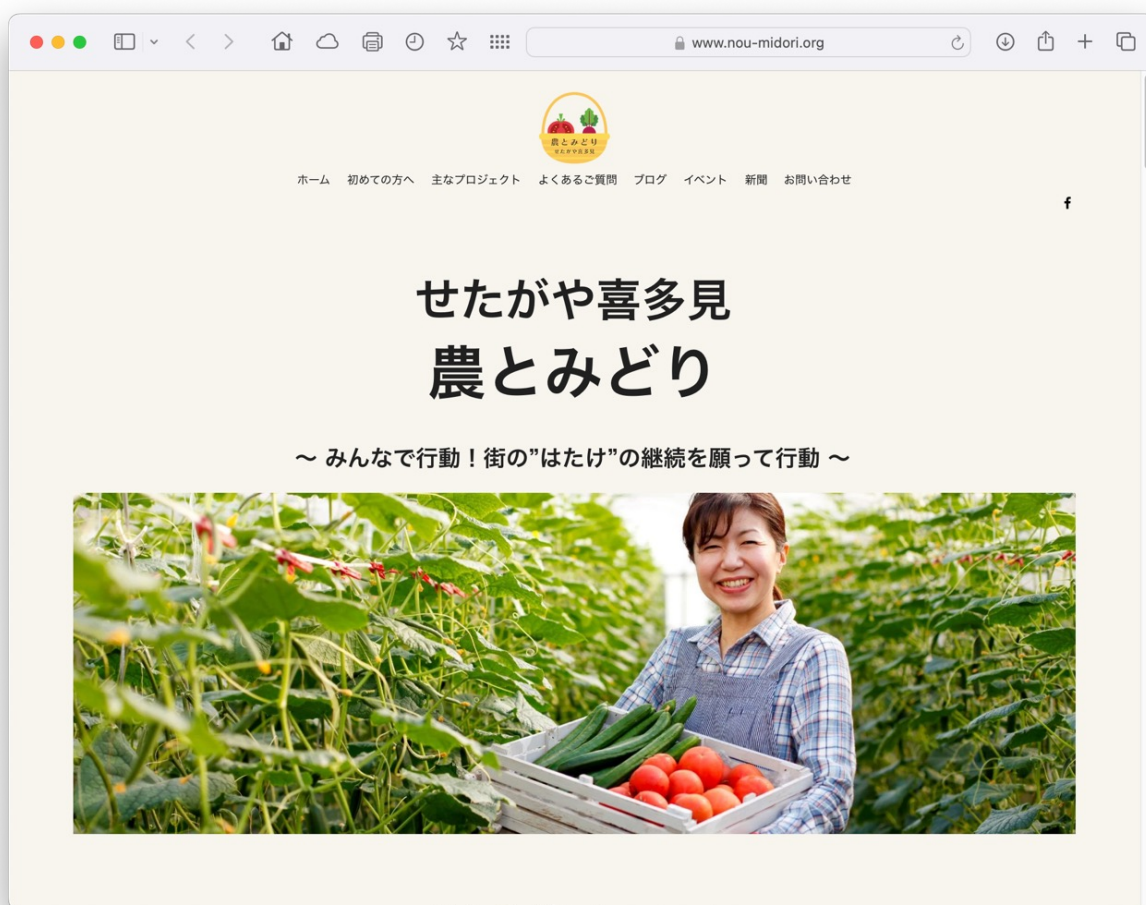
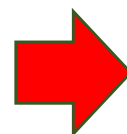
「農とみどり」のオフィシャルサイトができました。

URLは以下です。

<https://www.nou-midori.org/>

ぜひ、ごらんください。

スマホからは、右のQRコードから  
簡単にアクセスできます。





# 農とみどり 4月予定

## 5 月予定

2024 4月						
SUN	MON	TUES	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
7	8 15時 野の花 マルシェ	9	10	11	12	13 10時 細長アキチ
14 10時 そら豆マル シェ	15	16	17	18	19	20 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
21 9時半 てづくり市場	22	23	24	25	26	27 10時 細長アキチ
28	29	30	1	2	3	4 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ

## 小澤農園の手伝い体験4月～

畑 お手伝い(体験) 2024.04～06

小澤農園・NPO農とみどり 区画

畑(自然)に親しむ 体験の場

**生育の観察 大切な体験**

参加者ノート 記帳ください

ケガと 弁当は 自分持ち

未経験 大歓迎 お気軽に ご参加下さい

見学だけ参加 大歓迎です

※氷川神社の梅林に繋がる 自転車 が通れる 細道を すると、そこが、小澤 農園です。

小澤さんの ご理解に感謝

農がくだる 自然と大地に まみれる体験 ができます！

収穫する頃 にお知らせします 生育の様子も 楽しみです

**運用予定&規則**

- ・4-6月 第1と第3 土曜9時半～12時
- ・平日10時～15時 自由参加とします
- ・事前か事後の連絡下さい記録します
- ・参加者は小澤農園さんにご挨拶は必須 「奥の農とみどり区画の確認しました〜とか」
- ・畑観察のみOK (観察用の椅子を用意)

(NPO) 農とみどり (街の畑の支援チーム)

事務局担当 田島 (喜多見4丁目) 090-6159-2693

成城3丁目細長アキチ もあります

質問など田島まで、お知らせください。

4/21

てづくり市場あります。強風に注意！

2024 4/21(日)

やります！ 第3日曜日です

9:30～12:00 慶元寺駐車場

**てづくり市場**

マイバック ご持参くださいね!! ゴミ減らす

地元で採れたお野菜を販売します

宇奈根・喜多見・狛江 辺りの仲間

地元の野菜を楽しみ、農家さんに感謝する

いろいろなお店 歓迎します

採りたて野菜 の他に てづくりアリン、小物、リサイクル品、陸前高田の産物 10分間整体 など出店は状況で変わります

お気軽にお立ちよりください 幼稚園のとなり クルマでも大丈夫

私たちは、この地の畑を大切に考え、農の継続を願い、保育園行事や慶元寺での野菜販売(市民の市場)/農に係る映画上映会/畑の手伝い などを行っています

NPO せたがや 喜多見農とみどり

主催 テツクリはたけの会

事務局(出竹・田島): 090-6159-2693

のの花マルシェ 4/08 (第2月曜)

主なお客様は下校中の小学生  
関屋さんが運営しています



ご不明な点や、ご意見ご希望はなんなりと、このメールアドレスにお願いします。

Copyright © 2023 せたがや喜多見農とみどり, All rights reserved.

メールアドレス: : [info@nou-midori.org](mailto:info@nou-midori.org)

喜多見4-9-7 世田谷区, 東京都 157-0057